

視聴覚教育

NO. 462

発行日

R3. 1. 7

編集・発行

岡崎市 A V L

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？

「拡張子」

ファイルの種類を識別するためにファイル名の末尾につけられる文字列。例えば、写真は(jpg)、音楽ファイルは(mp3)など。この拡張子の関連付けにより、データファイルを開いた時に、対応するアプリケーションが自動で起動している。

学びを支えるためにできること

視聴覚ライブラリー所長補佐 近藤 雄一

東岡崎駅北東、岡崎の玄関口にある日本最大級、迫力ある家康公の騎馬像。春、黄色に輝くカンムリダケ、淡紫色が華やかなコバノミツバツツジなど、北山湿地の小さく美しい生き物たち。タブレット端末をタップすると、それらの迫力ある映像や、美しい映像が映し出される。

今年度の「おかざき映像教材研究会」の活動は、例年とは違う形で行う必要があった。コロナ禍のため、密になる取材や編集作業を行うことができないからである。そこで考えたのが、今年度はビデオ映像教材をやめて、全てをマルチメディア教材にするという改革である。これは、コロナ対策だけではない利点がある。撮り続けてきた映像教材をつなげて、一つのコンテンツにしたり、映像教材の要点を短く複数に分割したりすることで、コンテンツを系統的にまとめたマルチメディア教材とすることができると。令和二年一月より始まった、「岡崎版 G I G A スクール構想」の実施により、ICT環境整備が急激に進んだ。さらに、高速大容量のネットワーク通信の整備が計画されている。これまで

も学校・社会教育の映像教材は、ミクスを通して広く配信してきた。しかし、学校で直接利用可能なネットワーク配信はできなかった。そこで、学校で視聴する場合には、全小中学校に配付されるDVDを利用してきた。しかし、これからは高速大容量のネットワーク通信を利用することで、教材をインターネット上で検索するシステム構築を進めている。すると、子供はMyタブレットで検索、追究したい教材を選択し、大型ディスプレイで高画質な映像を視聴できるようになる。これによりビデオ・オン・デマンドが可能となり学びの深化につながるのである。今年度全教材の制作をマルチメディアにすることで、多くの困難があった。しかし、映像教材を活用して、子供が楽しく分かりやすい学びができるようにしたいという強い思いから教材制作に取り組んだ。このように視聴覚ライブラリーには、子供のためにという思いを込めた教材制作の取組が脈々と続いてきている。高速大容量のネットワーク通信を見据えた今、自作教材のさらなる活用と新しいマルチメディア教材制作を通して、G I G A時代の変化に対応しながら、社会教育、学校教育を支えていきたい。

Ⅱ 視聴覚教育あれこれⅡ

● 自作視聴覚教材の活用を

「おかざき映像教材研究会」制作の教材が完成間近です。今年度は、感染リスクを減らす工夫として、過去の教材をリメイクする形で、制作活動に取り組みました。いずれの教材もマルチメディア教材です。コロナ禍で例年通りの社会見学が行えなかった学校も多いようですが、マルチメディア教材を活用することで、見学に行かなくても現地の様子や携わる人々のインタビューを動画で見ることができ、さらに、Myタブレットを使って教材を活用することで、児童の興味・関心に沿って学習を進めることができ、個別最適化された学びを保障することができます。来年度の学習情報主任会において、全教材を収録したDVDを配付する予定です。これまでに配付した教材も含め、積極的に御活用ください。

作品の題名

A班『岡崎の伝統 〓 守り受け継ぐ人々の思い』

(マルチメディア教材 対象 小学校三・四年 社会)

B班『北山湿地』

(マルチメディア教材 対象 小学校六年 理科)

C班『岡崎の産業』

(マルチメディア教材 対象 小学校三・五年 社会)

D班『ごみのゆくえ』

(マルチメディア教材 対象 小学校四年 社会)

～作品の紹介～



B班「北山湿地」



D班「ごみのゆくえ」

実践報告Ⅱ

「コラボノートEX」思考ツールを使った実践

豊富小学校 海藤 健児

六年生は「とよみ学習(総合的な学習の時間)」で、防災について学んでいる。二学期、児童は非常食体験、簡易トイレ体験、体育館でのごろ寝体験の三つの体験を行った。このことについて「コラボノートEX」を使って自分の考えをまとめ、全体の中で意見交換をした。「コラボノートEX」には、様々な思考ツールがテンプレートで準備されているので、教材の準備が容易にできる。さらに、紙媒体の思考ツールと違い、「コラボノートEX」を使うことで瞬時に友達と考えを共有することができ、時間短縮もできる。

他の児童の考えがまとめられた「Yチャート」をじっくりと読むことで、児童は「ぼくは、簡易トイレを地域の人も使えるようにするというAさんの考えがいいと思う」や「B君の考えは、ぜひみんなにも伝えてほしい」などの考えをもった。このことから、多面的に物事を捉え、新たな自分の考えを構築していることが分かる。また、授業の終末に「コラボノートEX」の「寄せ書き」に感想を書き込む活動を取り入れることで、リアルタイムに内容を把握でき、授業の評価にもつながられる。

ICTと思考ツールを融合させることで、コロナ禍でも児童は他者と関わることができ、比較・整理・分析などの思考スキルを身に付けることもできた。



レッツ・トライ！ICTⅡ

今回紹介するアプリ

「ウゴトル」

全児童にタブレット端末が配付され、体育科や理科等、さまざまな授業面で、動画を撮影して観察したり、振り返ったりする機会が多くなった。その時に活用したいアプリが「ウゴトル」である。

このアプリの利点は三つある。一つ目は、感覚的に使えることだ。画面をなぞるだけで早送り、巻き戻しができるなど、低学年でも容易に操作できるようになっていて、いちいち静止しなくても、すぐに見たいところを選ぶことができる。二つ目は、コマ送り機能だ。動きを一コマずつ順に見ることができ、肉眼ではとらえられない瞬間を見ることができ、三つ目は、「拡大」、「補助線」、

「比較」等、動画を分かりやすく視聴できるアシスト機能がついていることだ。例えば、二重跳びの手本動画と自分が跳んでいる様子の動画を比較して、「腕が体から離れ過ぎていないかな」「膝を曲げた方がいいよ」と、上手な跳び方を試行錯誤して練習に取り組んでいた。



このアプリを利用する際は、三脚とタブレット端末用のホルダーを併用することを勧める。特に、比較機能を使う場合は、同じ位置から撮影しないと、正確に比較することができないからだ。タブレット端末を三脚にセットし「ウゴトル」を使えば、より効果的に学習を進めることができる。

(六ツ美北部小学校 学習情報主任 岩川 皓司)

ライブラリーだよ

●教材・機材貸出の御案内

新型コロナウイルスの影響で校外学習が困難な状況が続きます。それを補う手立ての一つとして、視聴覚ライブラリーから教材を借りて授業を行うのはいかがでしょうか。

視聴覚ライブラリー教材・機材の貸出には、曜日・時間に関係なくできるネット予約が便利です。OKリンクから「視聴覚ライブラリー貸出検索」を選択して視聴覚ライブラリーHPを開き、予約システムにログインしてください(詳細は『視聴覚・情報教育の手引き』教材等予約システム利用者マニュアルを参照)。IDとパスワードが分からない場合には、学習情報主任を通してライブラリーまで御相談ください(電話予約可能)。

貸出期間は貸出日を含めて7日以内(7日目が休館日の場合は休館日以降最初の開館日まで)、貸出日3か月前から予約可能です。

教材は、巡回郵便での送付ができます。**利用する場合は「利用目的」欄に「巡回郵便希望」と入力してください。**返却時は宛先を「視聴覚ライブラリー」として送ってください。

【貸出予約はお早めに】

毎年2月末から3月中旬にかけ学校行事関係での申込が多くなりますが、一般の利用も多い時期であり、非常に混み合います。例年はプロジェクトとデュプリケータの利用希望が多いですが、今年はビデオカメラの希望も多いと思われます。それぞれ早めの予約をお願いいたします。

連絡先 電話23-6789